

国語科学習指導案

日時 令和2年6月25日(木) 第5校時

場所 揖斐川町立揖斐川中学校 南舎2階 3年3組教室(31名)

授業者 青柳 博

1 単元

言葉を見つめる(教材:光村図書『国語3』「俳句の可能性」「俳句を味わう」)

2 単元のねらいとその捉え(教材観)

俳句は、今日まで継承されてきた日本の代表的な伝統的言語文化の一つであり、世界的にも広く知られた短詩型文学である。定型や季語などの約束事を知るとともに、世界で最も短い詩である俳句の豊かな表現力に気付かせ、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方を味わわせたい。しかし、短すぎるために生徒は表現することの難しさを感じるであろう。また、自分が創った俳句に自信がもてず、創ることの楽しさや充実感を味わうことも難しいだろう。そこで、本単元のねらいを2つに絞った。①俳句に詠まれている情景を想像し、筆者のものの見方や考え方に触れることと、②そのような作品を参考にしながら、表現を工夫して俳句を創作し、批評し合うことである。近世の芭蕉から明治の子規を通して、現代俳句までつながっているということや、17音の中にどのような思いを託して表現すればよいかを考えることができるように授業を組み立てたい。

3 生徒の実態

4. 指導計画（全6時間）

時	ねらい	活動内容	評価規準
1	俳句の特徴と決まりを知るとともに、言葉を少し変えるだけで俳句の世界が大きく変わることを理解することができる。	俳句の空欄部分に言葉を当てはめたり、表現を変えたりする活動を通し、つくった俳句を交流し、互いに批評し合う。	語句や表現技法の効果的な使い方を理解しながら俳句を味わっている。 【読むこと (1)ーア、ウ】
2	「俳句の可能性」に掲載されている五句について表現上の工夫を考えながら鑑賞することができる。	俳句の基本的な形式や約束事を理解し、筆者のものの見方や考え方、感じ方を読み味わい、さまざまな俳句を読み比べて、効果的な表現の仕方について考える。	筆者による俳句の解釈を踏まえつつ、語句や表現技法の効果的な使い方などの表現上の工夫を味わっている。 【読むこと (1)ーア、ウ】
3	「俳句を味わう」の俳句を音読し、それぞれの俳句の心情や情景を味わうことができる。	各句の季節・区切れ・切れ字を押さえ、大意を理解し、作者の意図に思いを巡らせながら、作品を音読し、作品のイメージをつかむ。	語句の効果的な使い方などの表現上の工夫を味わっている。 【読むこと (1)ーア】
4	感じたことの原因が読み手に伝わるように、表現の仕方を工夫し、俳句をつくることができる。	俳句の約束事を理解し、言葉を吟味して具体的な事実を一句以上俳句にする。	感じたことの原因が読み手に伝わるように、語句や語順、表現の仕方を工夫して、俳句をつくっている。 【書くこと (1)ーア】
5	これまでの俳句の学習を生かしたり、仲間からの助言などを踏まえて言葉の吟味し、感じたことの原因が読み手に伝わる俳句をつくることができる。	つくった俳句を互いに読み合い、表現の仕方について評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方、感じ方を深める。	学んだ俳句の技法を生かしたり仲間からの助言を参考にしたりして、より効果的な表現方法を選択し、俳句をつくっている。 【書くこと (1)ーエ】
6	表現を工夫した俳句を読み、仲間と句についての感想を交流して考え方を深め、批評文を書くことができる。	前時に行った句会で選ばれた秀句を全体交流で紹介し、自分で最も素晴らしいと思う秀句1句を選び、批評文を150字程度にまとめて書く。	つくった俳句を互いに読み合い、表現の仕方などについて評価して、簡潔な批評文を書いている。 【書くこと (1)ーエ】

5 研究に関わって

<研究内容2>

本時の手立て・活動 と 期待する効果

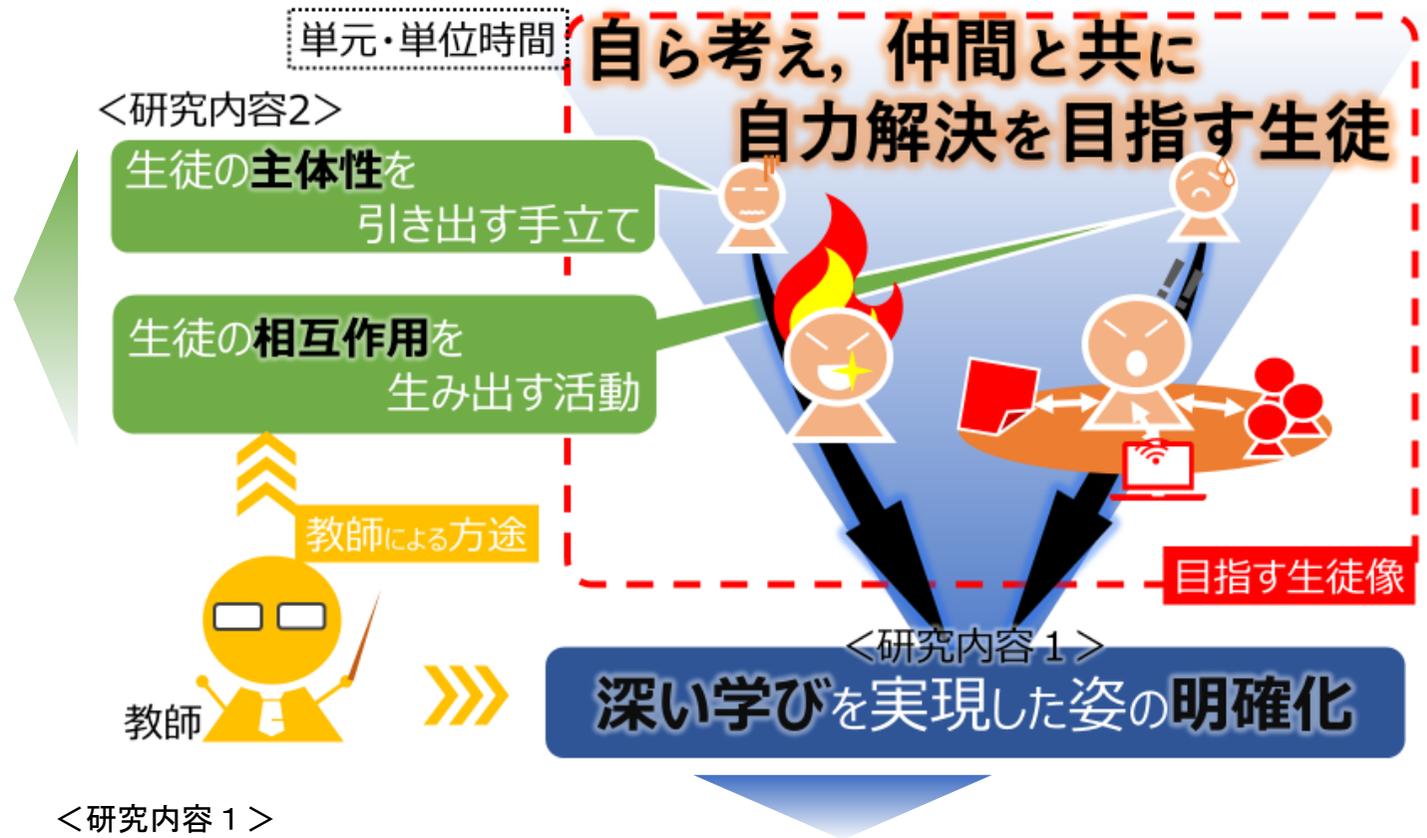
①「よりよい俳句をつくって句会へ」

授業の中で句会を開き、自分の俳句を発表する活動が位置づいていることを本時の授業の最初に確認する。句会までに何をすればいいのか時系列にそって学習活動を説明し、生徒自身に本時の学習の方向性と見通しをもたせる。

また、小グループの交流を位置づけることで、「自分の困っているところも仲間の考えが聞けるので何とかかなりそうだ」と俳句をつくることに難しさを感じる生徒に安心感を与え、「よりよい俳句をつくって、仲間を批評してもらおう」と学習活動に対する前向きな意識が生まれることに期待する。

②「小グループ交流の場を最大限に生かすために」

小グループ交流で、発言（提案）者が「何について話してもらいたいのか」をまず具体的に明確にする（ワークシートに記入し提示する）。交流の場で発言者の求める内容について仲間が的確に意見を出したり、仲間から出た意見を深めやすくしたりすることで、短い時間の中で、発言者にとってより生産的で建設的なものになることが期待される。



<研究内容1>

本時の深い学び

自分でつくった俳句を、仲間を批評してもらったり助言してもらったりすることを通して、自分の表現に自信を深めたり助言を参考にしながら表現を吟味し、手直しをしたりすることで、感じたことの中心や情景が読み手によりわかりやすく伝わる俳句をつくることができる。

本時の深い学びを実現した姿（具体）

[自分でつくった俳句]…服洗う前に蛍が一つ、二つ
[仲間からの助言]…服洗う前へ蛍が一つ、二つ

平仮名が一字違うだけで蛍の飛び方が変わってくる。自分の表現だと「蛍が目の前にとまっている」情景だけれど、「に」を「へ」に変えてみると「蛍がこちらへ飛んでくる」情景が表現できる。自分が表現したかったのは、蛍が優しい光を放しながら飛んでいる姿に感動したこと。「に」より「へ」の方が自分の表現したかった俳句の情景に合っているの、「服洗う前へ蛍が一つ、二つ」にしよう。

6 本時の学習 (5/6)

①本時のねらい

これまでの俳句の学習を生かしたり、仲間からの助言などを踏まえたりして言葉を吟味し、句に込められた心情や感動の場面や瞬間、その時の景色などが読み手に伝わる俳句をつくることができる。

【書くこと (1)ーエ】

②本時の展開

過程	活動内容	指導・援助, 研究について
導入	1. 句会に向けて選んだ1句とその情報を記入したワークシートを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 切れ字を使い、自分の感動をよく表現できた俳句だ。 自分はこの表現はいいと思うけれど、みんなはどうか。 「元気です」と「元気わく」のどちらがいいかな。 2. 学習課題を確認し、課題解決への見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 表現の仕方を吟味し、自分の俳句をよりよいものに仕上げよう。 </div>	○ワークシートを生徒間で回して学習する場面があるので、授業の前後に手洗いをすることを徹底する。 ○句会に臨む姿勢とその進め方を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆研究内容2 <u>生徒の主体性を引き出す手立て</u> それぞれの時間帯で何をすれば課題解決できるかの方向性と見通しをもたせることで生徒の主体性を引き出す。 </div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の進め方と手順を具体的に示し、確認する。 4人の小グループ交流では、互いに批評、助言し合いながら表現の仕方を考える場だと確認する。] 3. 記入したワークシートをもとに小グループで交流を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○作者から出された話題(助言してもらいたい部分)について、俳句から受け取った感じ、表現の工夫などについて意見をワークシートに記入する。 ○仲間の考えを否定しない(受け入れ、別の案を示す)。 4. ワークシートに記入された仲間の意見や助言を参考にして俳句を完成させる。(個人追究) <ul style="list-style-type: none"> みんなもいいと言ってくれたから、この表現のままがいい。 「です元気」の方が情景が伝わりやすいからこれでいい。 5. 小グループで句会を開き、それぞれの俳句を批評し、優秀句を一句選出する。	○グループ交流では時間を区切りワークシートを生徒間で回し、自分の意見をワークシートに記入する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆研究内容2 <u>生徒の相互活動を生み出す活動</u> ①同意や助言をしてもらいたい部分を明確にすることで、生徒が自分の考えを出しやすい学習環境をつくる。 ②テーマが絞られることで話題がそれることなく、多様な意見が重なり学習が深まる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆研究内容1 <u>深い学びを実現した姿の明確化</u> ①仲間から自分の考えを肯定され、自分の表現に自信をもつことができたからこのままでいい。 ②仲間の助言と自分の考えを比べ、どの表現がよりいいかを吟味し、よりよい表現の仕方を考え、俳句を完成させる。 </div>
終末	○批評する(句のどの部分がいいのか、理由をつけて話す)。 <ul style="list-style-type: none"> 切れ字が使われていて読み手の感動がよく伝わる俳句だな。 数がはっきりわかるので情景がイメージしやすい句だな。 6. 俳句づくりをしての感想を、本時のまとめとして書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> これまで、俳句をつくるのは難しいと思っていたが、少し表現を変えただけで伝えたい心情や情景ががらりと変わり、17音という短かさの中で世界がどんどん広がっていく俳句の奥深さとおもしろさに気付くことができよかった。また友達と同じテーマで俳句をつくってみたい。 </div>	○句会では、交流で考えを出したグループ以外のグループの俳句を批評する。作者の名前を伏せた状態で行い、時間を区切ってワークシートを生徒間で回し、これまでの作者の作成過程などを含め優秀句を一句選出する。 《評価規準》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学んだ俳句の技法を生かしたり仲間からの助言を参考にしたりして、より効果的な表現方法を選択し、俳句をつくっている。 【書くこと(1)ーエ】 </div>

